



## 2024年3月期 第1四半期決算短信〔日本基準〕(連結)

2023年7月28日

上場会社名 株式会社RYODEN 上場取引所 東  
 コード番号 8084 URL <https://www.ryoden.co.jp/>  
 代表者 (役職名) 取締役社長 (氏名) 富澤 克行  
 問合せ先責任者 (役職名) 総務部長 (氏名) 岡村 幸三郎 (TEL) 03-5396-6111  
 四半期報告書提出予定日 2023年8月9日 配当支払開始予定日 —  
 四半期決算補足説明資料作成の有無 : 無  
 四半期決算説明会開催の有無 : 無

(百万円未満切捨て)

## 1. 2024年3月期第1四半期の連結業績(2023年4月1日~2023年6月30日)

## (1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2024年3月期第1四半期	63,497	5.7	1,764	△6.3	1,763	△12.3	1,089	△17.7
2023年3月期第1四半期	60,079	13.7	1,883	64.7	2,012	54.8	1,323	58.1

(注) 包括利益 2024年3月期第1四半期 1,598百万円(△14.6%) 2023年3月期第1四半期 1,870百万円(25.1%)

	1株当たり 四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益
	円 銭	円 銭
2024年3月期第1四半期	49.90	49.68
2023年3月期第1四半期	60.81	60.43

## (2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率	1株当たり純資産
	百万円	百万円	%	円 銭
2024年3月期第1四半期	153,634	80,643	52.4	3,684.60
2023年3月期	151,049	79,898	52.8	3,652.29

(参考) 自己資本 2024年3月期第1四半期 80,471百万円 2023年3月期 79,766百万円

## 2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2023年3月期	—	33.00	—	41.00	74.00
2024年3月期	—	—	—	—	—
2024年3月期(予想)	—	40.00	—	40.00	80.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

## 3. 2024年3月期の連結業績予想(2023年4月1日~2024年3月31日)

(%表示は、通期は対前期、四半期は対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
第2四半期(累計)	128,000	0.8	3,400	△28.6	3,400	△27.9	2,200	△30.6	100.73
通期	263,000	1.0	7,000	△25.4	7,000	△22.9	4,800	△10.6	219.78

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

※ 注記事項

- (1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動 (連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動) : 無
- (2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 有
- (3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示
- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
  - ② ①以外の会計方針の変更 : 無
  - ③ 会計上の見積りの変更 : 無
  - ④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数 (普通株式)

① 期末発行済株式数 (自己株式を含む)	2024年3月期1Q	22,824,977株	2023年3月期	22,824,977株
② 期末自己株式数	2024年3月期1Q	985,114株	2023年3月期	984,827株
③ 期中平均株式数 (四半期累計)	2024年3月期1Q	21,839,914株	2023年3月期1Q	21,763,166株

※ 四半期決算短信は公認会計士又は監査法人の四半期レビューの対象外です

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

(将来に関する記述等についてのご注意)

本資料に記載されている業績の見通し等の将来に関する記述は、当社が現段階において合理的と判断する一定の前提に基づいており、実際の業績等は見通しと異なることがあります。

## ○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	3
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	4
2. 四半期連結財務諸表及び主な注記	5
(1) 四半期連結貸借対照表	5
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	6
(四半期連結損益計算書)	6
(四半期連結包括利益計算書)	7
(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書	8
(4) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	9
(継続企業の前提に関する注記)	9
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	9
(四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用)	9
(セグメント情報等)	10
3. 補足情報	11

## 1. 当四半期決算に関する定性的情報

## (1) 経営成績に関する説明

当第1四半期連結累計期間における世界経済は、ウクライナ情勢の長期化に伴う資源価格の高止まりやインフレ抑制を目的とした金融引き締めによる長期化による米国での金融不安が拡大したことなどにより、総じて成長の下振れリスクを抱えた弱含みの推移となる一方、中国のゼロコロナ政策の解除による貿易拡大やインド経済の底堅い推移によりアジア圏において回復の兆しも見られてきております。

日本経済は、新型コロナウイルス禍からの脱却に舵を切ったことにより、インバウンドの再開や国内旅客業の復調、デジタル化や脱炭素などを目的とした設備投資の拡大なども見られ、緩やかに回復しつつあります。

当社グループの取引に関する業界では、世界的に供給不足となっていた電子部品・半導体に起因するサプライチェーンの混乱に改善の動きがみられ始め、部品不足により停滞していた製品の生産も回復しつつありますが、一部では需給バランスの在庫調整などの動きも見られてきております。

このような状況下、当社グループは、中期経営計画において掲げた代理店、商社の枠を超えた事業創出会社として「成長事業のビジネスモデルの確立」「基幹中核事業の生産性向上」及び「事業推進基盤の強化」への取り組みを加速し、また2023年4月1日付で会社名を「菱電商事株式会社」から「株式会社RYODEN」に変更、新生RYODENとして新たな価値を創造すべく取り組んでまいりました。

その結果、当社グループの当第1四半期連結累計期間の業績は、売上高634億97百万円(前年同期比5.7%増)、営業利益17億64百万円(前年同期比6.3%減)、経常利益17億63百万円(前年同期比12.3%減)、親会社株主に帰属する四半期純利益10億89百万円(前年同期比17.7%減)となりました。

当第1四半期連結累計期間におけるセグメントの業績は次のとおりです。

(単位：百万円)

		前第1四半期 連結累計期間	当第1四半期 連結累計期間	増減率 (%)
FAシステム	売上高	10,481	12,371	18.0
	営業利益	170	527	208.9
冷熱ビルシステム	売上高	5,708	6,117	7.2
	営業利益	41	77	84.8
X-Tech (クロステック)	売上高	1,281	978	△23.6
	営業損失(△)	△70	△181	—
エレクトロニクス	売上高	42,622	44,042	3.3
	営業利益	1,844	1,429	△22.5

## ①FAシステム

FA分野では、半導体製造装置向けの販売が海外需要の落ち込みの影響を受け低調に推移しましたが、国内景気の持ち直し、サプライチェーンの回復による各メーカー生産量の増加により、工作機械及び一般産業装置向けの販売が好調に推移しました。

その結果、FAシステムの売上高は123億71百万円、営業利益は5億27百万円となりました。

## ②冷熱ビルシステム

冷熱分野では、民間消費や設備投資が回復基調のなか、施工業者の人員不足による受注調整の影響もありましたが、業務用エアコンや低温設備機器の販売が堅調に推移しました。

ビルシステム分野では、建設市場における資材の高騰・長納期化などの影響を受けましたが、昇降機や電源設備案件が好調に推移し、また既設設備の更新案件も堅調に推移しました。

その結果、冷熱ビルシステムの売上高は61億17百万円、営業利益は77百万円となりました。

## ③X-Tech

ヘルスケア分野では、トータルパックITのサービスが堅調に推移しましたが、新型コロナウイルス感染症の5類移行に伴う医療関連設備投資が減少したことにより、大型検査装置・画像システム等の販売が低調に推移しました。

ICT分野では、ビデオマネジメントシステム「FlaRevo」やRFIDを活用した資産管理システムの新規案件が低調に推移しましたが、IT関連機器の販売が堅調に推移しました。

スマートアグリ分野では、次世代型植物工場「Block FARM」の商業運用に続き、植物工場インフラ、栽培、販売・流通とバリューチェーンの整備に注力しました。今後は次世代農業やフードテックに今後参入する企業向けの新サービスを確立し、データドリブンで収益性の高いスマート農業の構築に取り組んでまいります。

以上の結果、X-Techの売上高は9億78百万円、営業損失は1億81百万円となりました。

## ④エレクトロニクス

国内では、車載市場は半導体不足による影響も緩和され生産回復基調となり、インフォテインメント機器向けSoC (System-on-Chip) やメモリ・センサーIC等の販売が堅調に推移し、産業機器市場でもパワーデバイス等の販売が堅調に推移しました。

海外子会社では、欧州地域の車載関連向け販売が低調に推移しましたが、中国地域の産業機器関連向けアナログ半導体、東南アジア地域の車載関連向けメモリ等の販売が堅調に推移しました。

その結果、エレクトロニクスの売上高は440億42百万円、営業利益は14億29百万円となりました。

## (2) 財政状態に関する説明

## ①資産、負債及び純資産の状況

資産の部は、受取手形、売掛金及び契約資産が14億95百万円減少しましたが、現金及び預金が7億18百万円、電子記録債権が6億10百万円、商品及び製品が37億3百万円増加したこと等により、資産合計は前連結会計年度末比25億84百万円増加し、1,536億34百万円となりました。

負債の部は、支払手形及び買掛金が10億24百万円、電子記録債務が68百万円、短期借入金が14億93百万円増加したこと等により、負債合計は前連結会計年度末比18億39百万円増加し、729億90百万円となりました。

純資産の部は、親会社株主に帰属する四半期純利益を10億89百万円、配当金を8億95百万円計上、為替換算調整勘定が1億34百万円、その他有価証券評価差額金が3億43百万円増加したこと等により、純資産合計は前連結会計年度末比7億44百万円増加し、806億43百万円となりました。

以上の結果、自己資本比率は前連結会計年度末比0.4ポイント減少し、52.4%となりました。

## ②キャッシュ・フローの状況

当社グループは、経営成績の向上と財政状態の安定を図り、資金需要に応じた一定の手許流動性を維持しながら、健全かつ効率的な財務活動を行っております。

当第1四半期連結会計期間末における現金及び現金同等物（以下「資金」という。）は、前連結会計年度末比12億20百万円増加し、123億12百万円の残高となりました。

（営業活動によるキャッシュ・フロー）

当第1四半期連結累計期間において営業活動により得られた資金は、3億44百万円（前年同期比21億22百万円収入増）となりました。これは主に、税金等調整前四半期純利益17億68百万円の計上と、売上債権の減少、並びに棚卸資産・仕入債務の増加によるネット資金の減少8億78百万円、その他の流動資産の減少による資金の増加12億93百万円、法人税等の支払16億88百万円によるものです。

(投資活動によるキャッシュ・フロー)

当第1四半期連結累計期間において投資活動により得られた資金は、2億74百万円（前年同期比8億39百万円収入増）となりました。これは主に、有形固定資産の取得による支出87百万円、無形固定資産の取得による支出80百万円、投資有価証券の取得による支出97百万円、有価証券の償還による収入1億66百万円、3ヶ月を超える定期預金の払戻による収入4億5百万円によるものです。

(財務活動によるキャッシュ・フロー)

当第1四半期連結累計期間において財務活動により得られた資金は、5億98百万円（前年同期比3億9百万円収入増）となりました。これは主に、配当金の支払8億59百万円、短期借入金の増加14億58百万円によるものです。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

第2四半期連結累計期間及び通期の業績予想につきましては、2023年5月10日に公表いたしました数値から変更しておりません。

## 2. 四半期連結財務諸表及び主な注記

## (1) 四半期連結貸借対照表

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (2023年3月31日)	当第1四半期連結会計期間 (2023年6月30日)
<b>資産の部</b>		
流動資産		
現金及び預金	11,632	12,350
受取手形、売掛金及び契約資産	58,516	57,021
電子記録債権	21,307	21,918
有価証券	168	145
商品及び製品	37,879	41,583
その他	6,851	5,610
貸倒引当金	△29	△29
流動資産合計	136,326	138,599
固定資産		
有形固定資産	5,438	5,438
無形固定資産	917	901
投資その他の資産		
その他	8,608	8,943
貸倒引当金	△248	△256
投資その他の資産合計	8,359	8,686
固定資産合計	14,715	15,026
繰延資産	7	7
資産合計	151,049	153,634
<b>負債の部</b>		
流動負債		
支払手形及び買掛金	41,732	42,756
電子記録債務	15,704	15,772
短期借入金	1,633	3,127
未払法人税等	1,905	769
その他	4,575	4,960
流動負債合計	65,551	67,386
固定負債		
長期借入金	1,785	1,785
退職給付に係る負債	2,980	2,971
その他	834	846
固定負債合計	5,599	5,603
負債合計	71,150	72,990
<b>純資産の部</b>		
株主資本		
資本金	10,334	10,334
資本剰余金	7,504	7,504
利益剰余金	59,391	59,586
自己株式	△742	△743
株主資本合計	76,488	76,682
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	1,940	2,283
為替換算調整勘定	2,023	2,157
退職給付に係る調整累計額	△685	△652
その他の包括利益累計額合計	3,278	3,789
新株予約権	129	172
非支配株主持分	2	-
純資産合計	79,898	80,643
負債純資産合計	151,049	153,634

## (2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書

## 四半期連結損益計算書

## 第1四半期連結累計期間

(単位：百万円)

	前第1四半期連結累計期間 (自2022年4月1日 至2022年6月30日)	当第1四半期連結累計期間 (自2023年4月1日 至2023年6月30日)
売上高	60,079	63,497
売上原価	53,328	56,624
売上総利益	6,751	6,873
販売費及び一般管理費	4,867	5,108
営業利益	1,883	1,764
営業外収益		
受取利息	6	29
受取配当金	86	83
持分法による投資利益	13	11
その他	43	32
営業外収益合計	149	157
営業外費用		
支払利息	5	21
為替差損	11	123
その他	4	12
営業外費用合計	20	157
経常利益	2,012	1,763
特別利益		
投資有価証券売却益	38	-
補助金収入	-	5
特別利益合計	38	5
税金等調整前四半期純利益	2,050	1,768
法人税等	737	681
四半期純利益	1,312	1,087
非支配株主に帰属する四半期純損失(△)	△10	△2
親会社株主に帰属する四半期純利益	1,323	1,089

四半期連結包括利益計算書  
第1四半期連結累計期間

(単位：百万円)

	前第1四半期連結累計期間 (自 2022年4月1日 至 2022年6月30日)	当第1四半期連結累計期間 (自 2023年4月1日 至 2023年6月30日)
四半期純利益	1,312	1,087
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	△71	343
為替換算調整勘定	604	134
退職給付に係る調整額	24	33
その他の包括利益合計	557	510
四半期包括利益	1,870	1,598
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	1,880	1,600
非支配株主に係る四半期包括利益	△10	△2

## (3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書

(単位：百万円)

	前第1四半期連結累計期間 (自 2022年4月1日 至 2022年6月30日)	当第1四半期連結累計期間 (自 2023年4月1日 至 2023年6月30日)
<b>営業活動によるキャッシュ・フロー</b>		
税金等調整前四半期純利益	2,050	1,768
減価償却費	118	157
貸倒引当金の増減額 (△は減少)	△0	7
受取利息及び受取配当金	△92	△113
支払利息	5	21
持分法による投資損益 (△は益)	△13	△11
売上債権の増減額 (△は増加)	2,205	1,995
棚卸資産の増減額 (△は増加)	△1,472	△3,565
仕入債務の増減額 (△は減少)	△2,252	692
補助金収入	-	△5
その他	△955	952
小計	△408	1,899
利息及び配当金の受取額	133	154
利息の支払額	△5	△21
法人税等の支払額	△1,497	△1,688
営業活動によるキャッシュ・フロー	△1,778	344
<b>投資活動によるキャッシュ・フロー</b>		
有形固定資産の取得による支出	△487	△87
無形固定資産の取得による支出	△83	△80
投資有価証券の取得による支出	△18	△97
投資有価証券の売却による収入	47	1
有価証券の償還による収入	-	166
定期預金の払戻による収入	-	405
補助金の受取額	-	5
その他	△24	△38
投資活動によるキャッシュ・フロー	△565	274
<b>財務活動によるキャッシュ・フロー</b>		
短期借入金の純増減額 (△は減少)	391	1,458
長期借入れによる収入	530	-
自己株式の純増減額 (△は増加)	-	△0
配当金の支払額	△632	△859
財務活動によるキャッシュ・フロー	289	598
現金及び現金同等物に係る換算差額	127	3
現金及び現金同等物の増減額 (△は減少)	△1,926	1,220
現金及び現金同等物の期首残高	11,577	11,091
新規連結に伴う現金及び現金同等物の増加額	629	-
現金及び現金同等物の四半期末残高	10,280	12,312

(4) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用)

税金費用の計算

税金費用については、当第1四半期連結会計期間を含む連結会計年度の税引前当期純利益に対する税効果会計適用後の実効税率を合理的に見積り、税引前四半期純利益に当該見積実効税率を乗じて計算しております。

(セグメント情報等)

## 【セグメント情報】

I 前第1四半期連結累計期間(自 2022年4月1日 至 2022年6月30日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:百万円)

	報告セグメント					調整額	四半期連結 損益計算書 計上額
	FA システム	冷熱ビル システム	X-Tech	エレクト ロニクス	計		
売上高							
外部顧客への売上高	10,481	5,708	1,281	42,607	60,079	—	60,079
セグメント間の内部売上高 又は振替高	—	—	—	14	14	△14	—
計	10,481	5,708	1,281	42,622	60,093	△14	60,079
セグメント利益又は損失(△) (営業利益又は営業損失)	170	41	△70	1,844	1,986	△103	1,883

(注) セグメント利益又は損失の調整額△103百万円には、各報告セグメントに配賦されていない全社費用△103百万円が含まれております。全社費用は報告セグメントに帰属しない新規事業開発費用であります。

II 当第1四半期連結累計期間(自 2023年4月1日 至 2023年6月30日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:百万円)

	報告セグメント					調整額	四半期連結 損益計算書 計上額
	FA システム	冷熱ビル システム	X-Tech	エレクト ロニクス	計		
売上高							
外部顧客への売上高	12,371	6,117	978	44,030	63,497	—	63,497
セグメント間の内部売上高 又は振替高	—	—	—	12	12	△12	—
計	12,371	6,117	978	44,042	63,510	△12	63,497
セグメント利益又は損失(△) (営業利益又は営業損失)	527	77	△181	1,429	1,853	△88	1,764

(注) セグメント利益又は損失の調整額△88百万円には、各報告セグメントに配賦されていない全社費用△90百万円が含まれております。全社費用は報告セグメントに帰属しない新規事業開発費用であります。

## 3. 補足情報

ご参考までに、前第1四半期連結累計期間及び当第1四半期連結累計期間の地域別売上高は、以下のとおりです。

前第1四半期連結累計期間（自 2022年4月1日 至 2022年6月30日）

## 【地域別売上高】

(単位：百万円)

日本	海外					連結合計
	アジア		北米	欧州	海外計	
	中国	その他				
(80.8%) 48,548	(11.5%) 6,895	(4.9%) 2,963	(1.8%) 1,078	(1.0%) 593	(19.2%) 11,530	(100.0%) 60,079

- (注) 1. 売上高は顧客の所在地を基礎とし、国又は地域に分類しています。  
2. 上段は連結売上高に占める地域別の構成比です。

当第1四半期連結累計期間（自 2023年4月1日 至 2023年6月30日）

## 【地域別売上高】

(単位：百万円)

日本	海外					連結合計
	アジア		北米	欧州	海外計	
	中国	その他				
(81.0%) 51,391	(11.1%) 7,070	(5.6%) 3,576	(1.6%) 996	(0.7%) 461	(19.0%) 12,105	(100.0%) 63,497

- (注) 1. 売上高は顧客の所在地を基礎とし、国又は地域に分類しています。  
2. 上段は連結売上高に占める地域別の構成比です。